

常任委員会

Q & A

決算特別委員会

総務委員会

開会日 10月2日(火)・5日
(金)
案件 議案4件・陳情2件・
報告7件等

●豊島区手数料条例(一部改正)
建築基準法の一部改正、手続の合理化等に伴う審査手数料の改正だが、種別ごとの金額の差が出る要因は。

●もともとの審査手数料から不要になった審査会や公聴会の人件費を差し引いたことによる。
●巣鴨地蔵通り電線共同溝等整備工事委託契約について

●新材料など5つの新技術導入により、どれほどの工期短縮を見込んでいるのか。
●通常の2年6カ月から9カ月の短縮を図る。

区民厚生委員会

開会日 10月2日(火)・5日
(金)
案件 議案5件・陳情2件・
報告10件等

●豊島区食品衛生検査施設の設備及び職員の配置の基準に関する条例(一部改正)

●現在、外部委託している検査は、また、委託することのメリット、デメリットは何か。

●委託しているのは、検体中の微量物質の分析等、高度な検査である。メリットは、機器のメンテナンス費用、職員体制についてのコスト的なもの。委託によっても緊急時を含めて検査体制の確保が可能であり、デメリットは特にないと考えている。

都市整備委員会

開会日 10月3日(水)
案件 議案3件・陳情1件・
報告5件等

●豊島区池袋駅周辺まちづくり推進基金条例

●基金の積み立て想定額は、街づくり推進条例に基づく地域貢献として都市基盤整備を自ら整備することに代わる協力であり目標額は定めてはいない。

●開発事業者側が協力金を拠出するメリットは、開発時期と基盤整備時期が異なる場合でも地域貢献が可能。

●基金を財源として充当する地域と対象施設は、基盤整備方針で定めている池袋駅周辺の都市基盤施設。

子ども文教委員会

開会日 10月3日(水)
案件 請願2件・陳情2件・
報告11件等

●児童虐待防止のための施策についての請願

●予期せぬ事態発生の際、子どもと面会できる取組として検討していることは、現在、児童相談所や警察と連携して子どもの安全の確認を行っている。今後は、国や都府県等の対策を踏まえて検討していく。

●乳幼児健診未受診の保護者に受診を促すことについて、本区の対応は、未受診者全員に電話連絡している。

9月19日の本会議にて、平成29年度一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計の4会計決算を審査するため、18名の委員からなる決算特別委員会を設置しました。7日間にわたる質疑を行い、最終日の10月25日には、会派ごとに意見表明(要旨は8面)を行った後、採決を行った結果、いずれも賛成多数で認定することとしました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

議会費

●議会図書室管理運営について
区の内部資料の収集の現状はどうなっているか。

●収集漏れがあるとの一昨年度の委員からの指摘を受け、毎年4月に全庁的に周知し、提出された資料は全て収蔵している。

総務費

●青色回転灯付パトロールカー運営について
前年度に比べ29年度に活動範囲が拡大した部分はあるか。

●従来の活動に加え、振り込め詐欺の増加に伴う無人ATMへの警戒活動、繁華街警備隊と協力したパトロールも開始した。効果的な犯罪抑止につながっていくための警察との連携は、警察署に立ち寄り犯罪の発生状況等を確認した上で活動を行っている。区担当課からも各警察署に前日の犯罪発生状況を確認し、隊員に周知する等、今後も警察との連携を図っていく。

福祉費

●保育の質について
保育事業者が多様化する中、保育の質を担保していく方策は。

●ベテラン保育士による巡回指導を行っている。また、区の職員向け研修を民間職員も受講できるようにするなど、研修の充実を図っている。

●都市整備費
リノベーションまちづくりについて
執行率の低下の要因は。
リノベーションスクールを29年度から休止したことが原因。今後は空家活用条例の普及等を通じて支援を行っていく。

●路面下空洞調査について
調査の取組状況は。
28年度に87カ所補修した。29年度は区内全域を調査するための実施要領や計画を策定した。実施要領の内容は。

●土木費
一般的な区道は6年毎、重要な区道は3年毎に調査する。

●文化商工費
オリンピック・パラリンピック機運醸成事業について
区内パラアスリートと区民の交流の場を設けては。
今後、アジアパラ競技大会等に参加した選手を招き、講演会や体験型のイベントを実施していきたい。

●教育費
げやき学級について
開設した成果は。
子どもたち一人一人の状況に応じた指導が充実している。

●国民健康保険事業会計
医療費の適正化について
保険制度を持続可能にする

●環境清掃費
集団回収について
29年度の回収量が減少している。町会への周知徹底を。集団回収は資源を有効に使用するために不可欠な事業。様々な機会を捉えて周知していく。

●衛生費
がん対策関連について
今年度の新たな取組は。
胃がん検診について、50歳以上の偶数年齢の方には、内視鏡検査を行う等の拡充を行った。

●受動喫煙対策について
現在、今後の区の取組は。
特定健診等での指導、区立公園の禁煙化、子どものための禁煙外来治療費助成等により、健康被害を最小に抑えていく。

●後期高齢者医療事業会計
軽減特例の見直しについて
保険料の軽減特例の見直しについて伺いたい。
平成29年度から実施され、本区における影響の試算は、低所得者及び元被扶養者合わせて約3千500人、約3千300万円である。

●介護保険事業会計
介護予防事業について
介護予防サポーターの現在の登録者数と今後は。
区が実施した介護予防サポーター養成講座を受講後に、登録した方は101名で、今後も継続的に養成していく必要がある。

●後期高齢者医療事業会計
軽減特例の見直しについて
保険料の軽減特例の見直しについて伺いたい。
平成29年度から実施され、本区における影響の試算は、低所得者及び元被扶養者合わせて約3千500人、約3千300万円である。

●糖尿病の重症化予防事業
ジェネリック医薬品の差額通知など重点的に行った。

後期高齢者医療事業会計

●軽減特例の見直しについて
保険料の軽減特例の見直しについて伺いたい。
平成29年度から実施され、本区における影響の試算は、低所得者及び元被扶養者合わせて約3千500人、約3千300万円である。

介護保険事業会計

●介護予防事業について
介護予防サポーターの現在の登録者数と今後は。
区が実施した介護予防サポーター養成講座を受講後に、登録した方は101名で、今後も継続的に養成していく必要がある。

決算特別委員会委員名簿

◎委員長	◎副委員長
池田 裕一 (自民党豊島区議団)	村上 典子 (民主ネット)
石川 大我 (虹としま)	有里 真穂 (自民党豊島区議団)
清水みちこ (日本共産党)	根岸 光洋 (公明党)
辻 薫 (公明党)	細川 正博 (都民ファーストの会)
磯 一昭 (自民党豊島区議団)	藤本きんじ (民主ネット)
小林ひろみ (日本共産党)	高橋佳代子 (公明党)
木下 広 (公明党)	里中 郁男 (都民ファーストの会)
竹下ひろみ (自民党豊島区議団)	吉村 辰明 (自民党豊島区議団)
山口 菊子 (民主ネット)	垣内 信行 (日本共産党)

※げやき学級…知的発達に遅れのない自閉症等の児童を対象とし、少人数・異学年の児童で編成される学級。